入選

未来の環境への願い

第五学年　田邊　新

　ぼくは、食品ロスを減らすことが大切だと考える。なぜなら、食べ物をすてるのがもったいないのと、すてる時に二酸化炭素が排出されるからだ。

　食品ロスを減らすことは、地球温暖化を止める方法の一つだ。インターネットで調べたら、もやす時に大量の二酸化炭素が排出されると書いてあった。

　しかし、「はらがいっぱいで食べられない」と考える人もいるかもしれない。

　その考えは、自分のことを中心に考えている。なぜなら、世界には食べ物を食べたくても食べられない人がたくさんいる。それに、野菜を作っている人、トラックなどで運ぶ人などの努力（働いた時間）が、むだになる。

　ぼくも野菜を育てたことがある。とても大変だった。ぼくが野菜を作っている人の立場

20 × 20

だったら、いやな気持になる。

これらのことから、食品ロスを減らすことが大切だと考える。ぼくは今、総合の食品ロスチームに入っている。みなさんも、食べられる量だけ買う、しょうひきげんなどを意識して買ってほしい。そうすれば食品ロスが減ると考える。